

GDF小児薬剤耐性結核 (DR-TB) イニシアチブ 導入からスケールアップ、そして持続可能性の確保へ

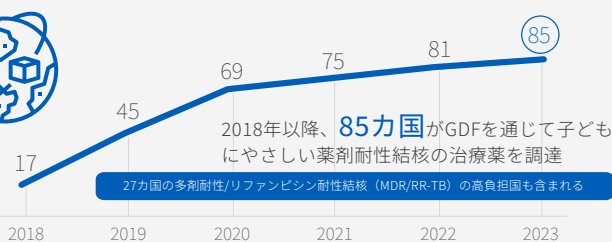
小児薬剤耐性結核 (DR-TB) の治療薬は、非常に小さな市場で需要も少ないため、新しい治療レジメを開発し、必要な国々に導入することが難しいです。2018年に始まったストップ結核パートナーシップGDF (Global Drug Facility) 「小児薬剤耐性結核 (DR-TB) イニシアチブ」は、これらの課題を乗り越え、子どもにやさしい新しい治療レジメの開発、導入、拡

大を加速させるために活動してきました。このイニシアチブは、日本政府と米国国際開発庁 (USAID) の資金提供を受け、2024年初めに完了しました。2018年から2023年にかけて、GDFは世界保健機関 (WHO) が小児薬剤耐性結核の治療に推奨する全11種類の経口薬に対して、子どもにやさしい治療レジメを導入するという目標を達成しました。

主要な成果



GDFはおよそ **6,500人分** の子どもにやさしい薬剤耐性結核 (DR-TB) の治療薬を提供しました



約
2,000人
は小児用のベダキリン
を使った治療
(2020年6月から利用可能)

約
1,000人
は小児用のデラマニド
を使った治療
(2021年11月から利用可能)

GDFがサポートする多くの国で、持続可能な資金が確保されており、今後もこれらの治療レジメへのアクセスが保証されています

このイニシアチブでは、多様な方法で目標を達成しました：



© Maggie Steber for Stop TB's GDF



© Ashley Gilbertson for Stop TB's GDF



小児薬剤耐性結核 (DR-TB) の新しい治療レジメを作ることを優先し、まとめて薬を購入することで供給と需要を管理しました。

各国に対して小児用薬剤耐性結核の治療薬の需要予測や供給計画のサポートを行い、初めの調達資金を提供しました。また、将来のための持続的可能な資金源を見つけ、その実施を臨的にサポートしました。

小児薬剤耐性結核 (DR-TB) の治療薬のアクセス向上を目指し、センチネル (Sentinel) プロジェクトとパートナーシップを結びました。このプロジェクトは、小児薬剤耐性結核に携わる医師、研究者、ケア提供する人々から構成されるネットワークです。



2020年には、このイニシアチブの一環として制作された15分のドキュメンタリー映画がウェビー特別賞 (Webby Awards) を受賞しました。この映画は、普段結核に携わっている人々だけでなく、より多くの人々に視聴され、成功を収めました。さらに、世界中に広めるために、ドキュメンタリーには6つの国連公用語と日本語の字幕が付けられています。

以下のQRコードをスキャンしてご覧ください。



QRコードをスキャンするか、[こちら](#)をクリックしてください



小児結核への関心を高めるため、ストップ結核パートナーシップは2020年11月にハローキティと新たなパートナーシップを締結しました。



QRコードをスキャンするか、[こちら](#)をクリックしてください

Jointly funded by:



From the People of Japan

Stop TB Partnership

hosted by UNOPS